

橋 梁 耐 震 化 計 画



令和 5 年 1 0 月

高砂市

1. 目的

地震による落橋で他の施設に甚大な被害を与える恐れのある既設橋梁（跨線橋・跨道橋）の耐震化を図り安全を確保する。

2. 耐震補強の計画

耐震補強を優先的に進める橋梁

橋長 15 m 以上で落橋により他の施設に甚大な被害を与えるおそれのある橋梁（跨線橋・跨道橋）

3. 耐震補強の目標

令和 14 年度までに高砂大橋の耐震化を行う。

松陽陸橋は、平成 26 年度に補修済。令和 4 年度の点検後に検討する。

4. 調査結果

橋梁内訳		内容	
全橋梁	326橋	橋長2m以上	
	29橋	全橋梁のうち橋長15m以上	
要対策	12橋	跨線橋・跨道橋	2橋
		河川・水路上の橋梁	10橋
対策不要	17橋	昭和55年以降の基準で設計された橋梁	10橋
		橋脚のない橋梁	6橋
		カルバート橋	1橋

5. 耐震化事業の方針

要対策となった橋梁について以下方針より優先順位を決定する。

優先順位

①跨線橋・跨道橋

②河川・水路上に架かる橋梁

※②河川・水路上に架かる橋梁 10 橋については、災害時に落橋した場合においても第 3 者に被害を与える可能性が極めて低いこと、集落が孤立することがないため（う回路を有する）令和 15 年以降に耐震化計画を見直すこととする。

6. 耐震化事業の実施計画

耐震化事業の方針により、以下の橋梁の耐震化を行う。

優先順位	橋梁名	橋長(m)	架設年次	路線名	下路条件
1	高砂大橋	509.4	1974 年	(1)宮前幹線道路	県道・市道・港湾
2	松陽陸橋	291.6	1976 年	(1)松陽幹線道路	山陽電気鉄道・市道

実施工程表

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度
高砂大橋																	
松陽陸橋	(未定)																

附 則

この計画は、平成 27 年 12 月から施行する。

附 則

この計画は、平成 29 年 3 月から施行する。

附 則

この計画は、令和 4 年 6 月から施行する。

附 則

この計画は、令和 5 年 10 月から施行する。

位 置 図

